

30512

教科書文庫

3
290
41-1886
20003
02836

Kodak Gray Scale



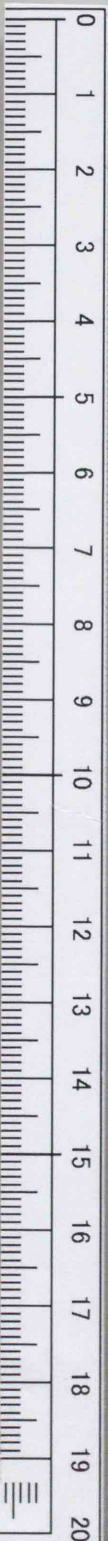
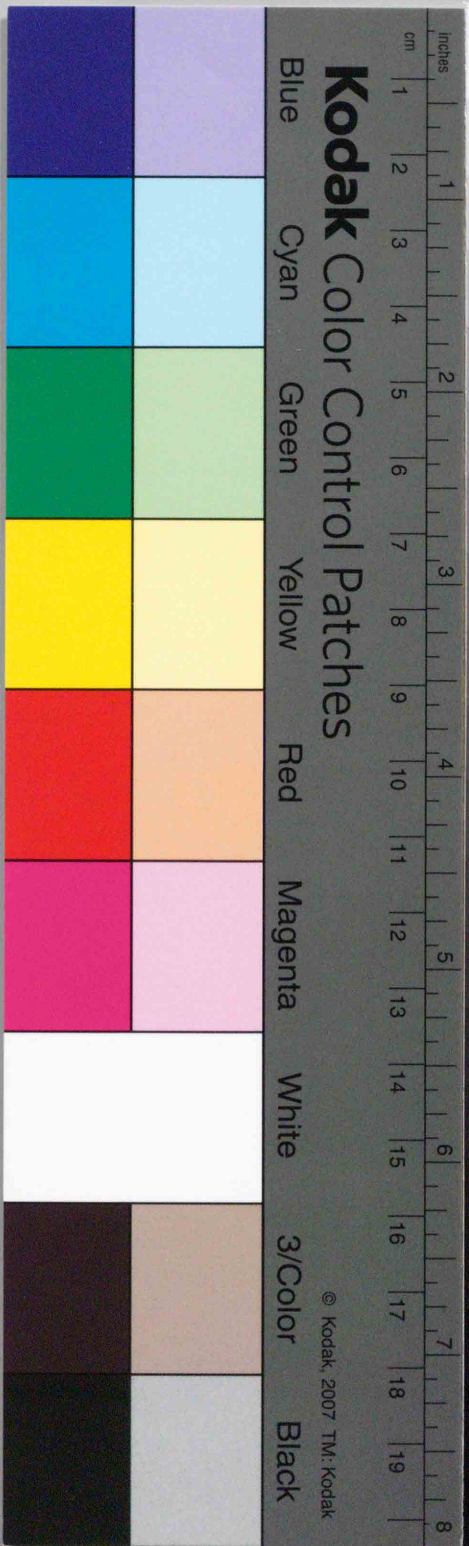
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



375.9
0t19
資料室



3759
Oct 19

中央圖書館

廣島大學
圖書印

廣島大學
教
23884
書

廣島大學
圖書印

改正日本地誌要略卷之四

東京 大槻修二著

北陸道 若狹越前加賀能登越中越後佐渡ノ七國ヲ北陸道トナス
西北ハ共ニ日本海ニ向ヒテ其海水ハ潮汐ノ干満極テ少
シ東南ハ大山脈圍ミ亘リテ東山道ト向背ヲナシ其際僅
ニ峻路險坂ヲ通ズルノミ而テ西端ハ山陰道ニ接シ東隅
ハ奥羽ニ界ス其間百七十里南北ノ幅員ハ山海相逼リテ
其最狹キ處ハ十里ニ過ギザレハ亦三十里ノ廣處ニ及ブ
者アリ白山立山ノ二高山相並ビテ中央ニ對立ス即全國
ノ脊骨ナル大山脈中ノ大岳ニシテ白山ノ脈ハ正北海上

改正日本地誌要略 卷之四 北陸道

ニ出デ、能登ノ半嶋國ヲナス、仍テ、全道ノ地勢ヲ限ル、立
山ノ脈ハ、數里ニシテ、切斷シ、其海岸ヲ、親不知ノ險トナス、
佐渡ハ、其海上ニ峙テル一孤嶋タリ、○抑全道ハ、兩羽陸奥
ニ亘リテ、上世越國ト呼ブ、亦蝦夷ノ境域ナリ、王化ノ及ブ
ニ從ヒテ、土夷ノ内附スル者、相繼ギ、孝德帝ノ時、境ヲ開ク
一漸廣シ、大化三年、淳足柵ヲ置キ、明年石舟柵ヲ置ク、今ノ
沼垂岩船是ナリ、天武帝特ニ諸國ノ疆界ヲ定ム、蓋三越ノ
分國ハ、此時ニ在リテ、白山ノ脈ヲ、前中ノ經界トシ、二柵以
北ヲ越後ト泛稱ス、大寶二年、越中四郡ヲ越後ニ屬セシメ、
立山ノ脈ヲ、中後ノ分界ト定ム、和銅元年、出羽柵ヲ置キ、五
年建テ、國トナス、越後ノ北境、始テ定ル、養老二年、越前ヲ

割キテ、能登國ヲ建テシガ、後二十三年ヲ歷テ、コレヲ越中
ニ合セ、同時ニ又佐渡ヲ越後ニ屬ス、孝謙帝ノ時ニ至リテ、
兩國共ニ再置ス、其後五十六年、更ニ越前ヲ割キテ、加賀國
ヲ建シ、實ニ弘仁四年ニシテ、是ヲ中世分國ノ最尾トス、
若狹 三郡 中ノ一、三縣ニ分ル、其間四谷ニ里、其本時、
全道ノ西端ニ居ル小國ニシテ、越前其前ヲ擁シ、丹後其後
ヲ圍ム、南ハ山脈ヲ限リテ、近江丹波ニ接ス、海岸ノ中央ニ
大灣アリ、小濱入江ト云フ、松崎東ヨリ出テ、久須夜岳其岬
上ニ峙チテ、灣ノ前面ヲ抱ク、赤栗崎ハ、西ヨリ出テ、岳端
ト、海口ヲ夾ム、其間一里、灣内ハ、周回十四里、南川丹波ノ界
ヨリ來リ、北川近江ノ境ニ發シ、相共ニ小濱ニ至リテ、海

入ル、小濱ハ、人口一萬ニシテ、灣ノ南岸ニ臨ミ、北運ノ舟船
常ニ輻湊シテ、日本海中ノ良港タリ、多田岳後瀨山共ニ小
濱ノ南ニ並ビ、其後山相重リテ、國界ニ連ル、山間ノ一邑ヲ
熊川ト云フ、西近江ニ接セリ、○入海ヨリ西ハ、押廻崎高濱
浦等、岬灣出入スレト、舟船ノ地ナク、直ニ丹後ニ亘リテ、青
葉山高ク、國境ニ峙ツ、
三方湖ハ、上中下ノ三湖ニ分レテ、周回各ニ里餘、其水相通
ジテ北ニ流レ、早瀨浦ニ至リテ、海ニ入ル、蓋三方ハ三瀨ナ
リ、郡名モ亦是ヨリ起レリ、凡北海濱ノ湖沼ハ、皆瀨ト呼ビ
テ、羽後ニ象瀨ハ、郎瀨アリ、陸奥ニ十三瀨アレバ、上世同國
ナルヲ推シテ知ルベシ、○常神浦ニ、御神山アリ、海中ノ小

嶼ニシテ、其沿岸ハ、勝景ノ地多ク、佐垣丹生ノ諸濱相臨シ
テ、琴引崎ハ、越前ノ境ヲ限レリ、

越前ノ郡

繼體帝ノ登祚セラレザルヤ、幼ヨリ此國ニ居給ヒ、常ニ水
理ノ治ラザルヲ憂ヒ、河道疏通ノ工事ヲ起シテ、東北ニ
海港ヲ開カレシト云フ、今ノ坂井港是ナリ、其河流ノ長大
ナル者三條アリ、下流ハ相集リテ一大河トナリ、遂ニ其港
ニ注ギ入ル、其一ヲ日野川ト云フ、北流ニ十四里、北國街道
ノ武生ヨリ舟運ヲ通ズル十里、角折ニテ足羽川ニ會シ、是
ヨリ安居川ト稱ス、高屋ニ至リテ、九頭龍川ト合ヒ、水勢益
大ニシテ、坂井港ニ注グ、其二ヲ足羽川トス、田代部子ノ諸

山ヨリ出ヅル者相集リテ北ニ下ル二十五里福井ヲ貫キ
 テ官道ニ九十九橋ヲ架ク橋下ヨリ既ニ舟運アリ其三ハ
 即九頭龍川ナリ其流三十里別山ニ發スル者ヲ正源トナ
 ス油坂川熊宮川等集合シテ荒嶋岳ノ麓ヲ遶リ兩岸相逼
 ルニ丈餘真名川南ヨリ會流シテ水勢始テ大ナリ鷲岳ヲ
 下ヲ過ギ分レテ飯嶋ヲ夾ム其相合ヒテ西下スルヤ行舟
 始テ下流ニ達スベシ再五領嶋ヲ抱キテ又合ヒ福井ノ東
 ニ舟橋アリシカバ舟橋川ノ稱アリ今ハ長橋ヲ架ク此三
 川各既ニ大ナリ其一道トナルヤ河幅二百間是ヲ北陸七
 大河ノ其一トス
 國中山多ク惟安居川ノ兩岸ヨリ海濱ニ亘リテ僅ニ平野

ヲ得ルノミ東南隅ハ山岳重疊シテ飛驒美濃加賀ト相接
 シ白山其北ニ秀テ大日岳其南ニ聳エテ道路ヲ通ゼズ白
 山ノ別峯ヲ別山トナス荒嶋岳特ニ峻秀ニシテ飯降山ト
 共ニ其西ニ並ブ加賀ノ境ハ兜山經岳鷲岳等相接シテ丈
 競火焰ノ諸山ニ連リ其脈ヲ盡ル處ハ即平野ノ東南ト
 以而テ美濃ノ境ニ亘ル者モ其ニ高山峻嶺ニシテ油坂嶺
 部身岳田代山冠岳等相連リテ西南ニ走リ其隅ヲ板取峠
 ト北陸ノ官道ニ當北則木芽峠其北ニ連リテ歸山湯尾
 峠等ノ脈ヲ起シ海岸ニ沿ヒテ綠青越智國見高須ノ諸山
 相並ヒ北ニ亘リテ坂井港ノ西ニ絶ニ中央モ日野白椿文
 珠吉野永平寺山等各方ニ峙テ村里多ク其山間ニ在リ

坂井港ハ人口一萬其舊稱ヲ三國野云フ街市ハ河口ノ兩岸
岸ヲ夾ミテ中央ニ道實嶋アリ安嶋崎ハ港ノ北ヨリ出テ
雄嶋真海上ニ峙ツ以北ノ沿岸ハ斷崖相亘リテ奇絶ノ
景勝アリ○北瀉ハ東北隅ノ入江ニシテ周回五里ニ及ブ
其東岸ハ加賀ニ亘リテ灣内ニ注グ界川ヲ兩國ノ經界ト
ス
福井ハ人口四萬ニシテ大津ト相距ル四十二里北ハ金澤
ニ到ル二十三里此地ハ天正中柴田勝家ガ居城セシ處ニ
テ北莊ト呼ビシガ松平氏ノ封ヲ受クルニ及ビテ今稱ニ
改ムト云フ安居川ノ舟運六里ヲ通ジテ運輸頗便利ナリ
大野勝山ノ兩邑ハ九頭龍川ノ上流ニシテ丸岡松岡ハ其

下流ニ接ス鯖江ハ日野川ヲ夾ミテ武生ト相對ス亦官道
ノ驛路ニ當レリ山形五北ニ去リマ殊中ノ界ニ亘ル者ハ
敦賀ハ南隅ノ一郡ナリ海灣深ク入りテ其西岬ヲ立石崎
ト云ヒ榮螺岳其岬端ニ立チテ越前崎ト相望ム敦賀港ハ
人口一萬ニシテ灣内水深キヲ四十仞故ニ北海岸第一ノ
良港トス且瀛車ノ鐵道ヲ近江ノ長濱ニ通ズレバ北海送
運ノ物貨ハ琵琶湖ニ漕輸シテ大坂ニ轉致スル者出入甚
盛ナリ邑中ニ氣比宮アリ其東ノ金崎ハ延元中新田義貞
ガ據守シテ興復ヲ遂ゲザリシ處ナリ○荒乳山ハ南隅ニ
アリ中古三關ノ一ナル愛發關ナリ木芽峠ノ山脈郡ノ東
北ヲ限リテ其最西角ヲ越前崎トス沿岸ノ諸濱ハ山ヲ負

七海ニ臨ミテ坂井港ニ至ル二十餘里岩礁相並ビテ其際
二河野浦アリ、一七八〇年關下村等村山神傳ノ東
加賀四郡 飛騨守ノ領アリテ、飛騨山ノ南端ニ
白山ハ直立八百九十丈富士立山ト并セテ三高山ト稱ス
全峯ノ白雪終歲消エズ故ニ此名アリ、國ノ西南ニ立キテ
西ニ別山アリ東ニ劍岳アリ群峯其下ニ聳エテ人跡道路
ナシ國境ノ連山皆是ヨリ起リテ東西ヲ圍ミ成ス釋迦岳
妙法山等ハ西ニ亘リテ大日山トナリ富士寫岳トナリテ
越前ノ境ヲ限ル飛驒ノ境ハ最重峻ナリ又笈岳池三峯等
相並ビ其一帶ノ山脈正北ニ走リテ越中ノ界ニ亘ル者ハ
即上世前中兩越ノ經界ナリ醫王山ニ俣山寶坂嶺等相列

リテ其隅ヲ栗殼嶺トス官道ノ坂路ニシテ三國山又其北
ニ峙ツ、北到第一ノ津會ニ至ル者亦不詳也、百二十
海岸十八里岬角ナク嶋嶼ナク崑礁ナシ港灣モ亦甚少シ
僅ニ安宅美川金石ノ三港アレドモ其ニ大船ヲ繋グ不能
ハズ沿海ノ地頗平坦ニシテ六七里ニ亘レドモ内地ハ山
谷相列リテ竟ニ白山ノ麓ニ接ス其際ニ温泉多シ西ニ山
代山中粟津ノ三湯アリ中央ヲ中宮湯トシ東隅ヲ湯涌ト
ス、
手取川ハ兩源共ニ白山ニ出ツ其一ヲ千尋瀧トス直下ニ
百丈ニ水相合ヒテ中央ヲ北ニ流ル、二十里美川港ニ注
グ北陸七河ノ一ナリ大聖寺川ハ大日岳ヨリ出テ、西北

改正日本地理要略 卷之四 加賀

二環ル十八里、九谷ヲ過ギテ、西ニ轉ズ、即越前ノ界川ナリ、
梯川モ環流十二里、小松ヲ歷テ、安宅港ニ入レバ、又安宅川
ト云フ、犀川、淺野川ハ、金澤區ヲ夾ミテ、西北ニ流レ、犀川ハ
海港ヲ金石港トシ、淺野川ハ、北ニ環リテ、河北瀉ニ入ル、○
河北瀉ハ、海濱ニ接シテ、周回六里、又八田瀉ト云フ、下流ハ、
西ニ出デ、亦金石港ニ入ル、今江木場柴山ノ三瀉ハ、水流
相通ジテ、常ニ三湖ト呼ブ、其水一道トナリテ、梯川ニ入ル、
湖ノ西ナル海濱ヲ篠原トス、松林一帶相連ル、五里、安宅
浦ヨリ北瀉ノ海口ニ亘レリ、
金澤區ハ、北陸第一ノ都會ニシテ、東京ト相距ル、百二十七
里、街市ハ、尾張町、南町等、方一里ニ亘リテ、人口十一萬アリ、

其繁盛ナルヲハ、名古屋ニ次グ、此地ハ舊稱ヲ尾山ト呼ビ
シガ、前田氏ノ居城ヲ定ムルニ及ビテ、今名ニ改メシト云
フ、○金石港ハ、大野宮腰ヲ并稱スル者ニテ、人口一萬、金澤
ト二里ヲ隔ツ、小松、大聖寺モ亦各一萬ノ人口アリテ、共ニ
北國街道ノ大邑トス、
能登四郡
此國ハ、大ナル半嶋ニシテ、日本海中ニ突キ出ヅル、三十
餘里、猶東海ノ伊豆ノ如シ、但中央ヨリ折レテ東北ニ向ヒ
其端大ナル岬角ヲナシテ、佐渡嶋ト相對ス、中間三十里、蓋
白山ノ脈南ヨリ來ル者、此岬ニ至リテ斷ツ、是ヲ能登御崎
ト云フ、○岬ヨリ西南ヲ外浦ト呼ビ、加賀越前ト一帶ノ海

濱ヲナス岬ヨリ東南ハ地勢彎曲ニテ越中越後ト相向フ其沿岸ニ九十九港アリ七尾入江アリ總稱シテ内浦ト云フ
三國山ハ南境ニ峙チテ加賀越中ニ跨ル寶達山其脈ヲ承ケテ東ニ石動山アリ其ニ越中ノ界ニ立ツ而テ國ノ中央ニ亘ル者ハ鷹爪別所高洲寶立ノ諸山相連リテ山伏山ニ絶エ其端ハ即御崎ナリ三岬並ビ出テ巨崑絶崖屹立スルヲ十餘丈金剛崎最嶮峻ナリ郡名ニ依リテ珠洲崎ト總稱ス岬前ハ岩礁相列リテ北運ノ舟船歳々損破ノ害ニ逢フ者甚多シ故ニ相戒メテ第一ノ危険トナス
國中大河ナシ羽喰川ハ寶達山ニ出デ上流ヲ子浦川ト

云フ邑知瀉ノ下流ト共ニ外浦ニ注グ同海岸ニ又神代川アリ
内外浦ハ其ニ舟泊ノ處多ク而テ港灣ノ景皆其奇勝ヲ賞ス可シ然凡海上ハ暗礁冥洲相亘リテ舟行甚困ムト云フ
○外浦ハ沿岸四十里西北ノ兩面ヲ開ク北ニ向フ處ハ辰崎出テ輪嶋港ヲ擁ス其海上十九里ニ舳倉嶋アリ周回一里餘平生居民ナキモ漁獵ノ場タリ數嶋其北ニ並ブ者ヲ七嶋ト呼ブ○福浦ハ西ニ向ヒテ大澗小澗ノ兩口アリ七尾入江ハ東南隅ノ大灣ニシテ沿回三十里能登嶋其正中ニ横リテ周回十四里常ニ嶋地ト呼ブ灣口ハ嶋ノ東端ト相夾ミテ南北兩峽ヲナス南口漸小ナリ海小口ト云フ

北口頗大ナリ、海大口ト云フ、灣内モ亦嶋ト相夾ミテ、三口
屏風崎ノ兩峽アリ、屏風崎ハ、南屏風後屏風等、兩崖共ニ絶
壁ニシテ、其西南海濱ニ和倉ノ温泉アリ、○七尾港ハ、所口
ト稱ス、金澤ト相距ル十八里、小口峽内ノ南岸ニ臨ミテ、港
内東西一里、北ハ能登嶋ト對岸二里ヲ隔ツ、水深キ一六仞、
故ニ舟船ノ安穩ナルヲハ北陸第一トス、然氏陸路ノ運輸
甚便ナラズ、此地ハ、畠山氏ガ世々此國ヲ領セシ時ノ居城
趾ニシテ、上杉謙信ノ來リ攻メテ、コレヲ陷レシハ、實ニ天
正二年九月十三夜ナリ、○中居麥浦乙崎ノ三港ハ大口峽
内ノ北岸ニ臨ミテ、水共ニ深シ、其峽外ニ宇出津アリ、以北
ハ九十九港ニシテ、灣浦相並ビテ、小木ハ其中ノ良泊ナリ、

是ヨリ東北十一里ニシテ、御崎ニ達ス、其岬陰ナル蛸嶋港
ヲ内浦ノ最尾トス、

越中 四郡

北陸ノ七大河ハ、此國ニ四川アリ、而テ神通川最大ナリ、飛
驒ヨリ來リテ、國ノ中央ヲ北ニ流レ、篠津山田ノ諸川ヲ并
セテ、水勢益大ナリ、奔流直下シテ、橋梁ヲ施スヲ能ハザレ
バ、官道ニ舟橋ヲ設ク、富山ノ東ニ、六十四舟ヲ列ネテ、往來
ヲ通ゼリ、更ニ下ル二里、其海口ヲ、東岩瀨ト云フ、源ヨリ五
十里、國界ヨリ三十里、下流ノ幅、二百五十間、信濃川ノ外、北
國此大河ナシ、○莊川ハ、上流ヲ雄神川ト云ヒ、下流ヲ大門
川ト云フ、郡名ヲ以テ、又射水川ト云フ、飛驒ノ白川ノ末ニ

シテ、其流四十里、西隅ノ衆流ヲ并セテ、北ニ下リ、高岡ニ至
 リテ、小矢部川ト合フ、小矢部川ハ、大門山ニ出デ、亦北ニ
 流ル、二十里、礪波山ノ麓ヨリ、東ニ折レ、相會シテ、新湊ニ
 入ル、此他ノ二大河ハ、共ニ立山ノ奥ニ出ヅ、其鷲羽岳ヨリ
 出デ、山陽ヲ流ル、者ヲ、常願寺川ト云ヒ、藥師岳ニ發シ
 テ、山陰ヲ下ル者ヲ、黒部川ト云フ、黒部川ハ、東隅ヲ流ル、
 一二十里、官道ニ合本橋アリ、左右ヨリ層架シテ、柱枕ヲ用
 申ズ、下流ハ數派ニ分レテ、四十八瀨ト呼ブ、其本流ハ、直ニ
 新濱ニ注グ、常願寺川モ、亦北流十八里、中央ヲ環リ流レテ、
 水橋港ニ入ル、兩河ノ間ナル、片貝早月ノ二川モ、亦源ヲ立
 山ノ屬峯ニ出ス者ナリ、

立山モ、三高山ノ一ニシテ、東南隅ニ屹立スル五百餘丈、劍
 岳、藥師岳等、重疊シテ、飛驒信濃ニ跨ル者ヲ、鷲羽岳トス、國
 境ハ、人跡ヲ通ゼザル者十餘里、立山ハ、峯頂常ニ硫烟ヲ吐
 キテ、山中火坑多シ、俗ニ四十八地獄ト呼ブ、其麓ニ有峯、黒
 雜等ノ温泉アリ、小川ノ湯、浴客最多シ、山脈ハ、東北ニ赴キ、
 十里ニシテ、切斷ス、其海岸ヲ宮崎ト云フ、即越後ノ界ナリ、
 ○朽津山、牛岳、祖父岳等、南方ニ並列シテ、夫婦山、金剛堂山、
 其前ニ並ビ、以北ハ、山圍漸開クレドモ、西南ハ、白山ノ脈ヲ
 承ケテ、飛驒ト接スル處ニ、人形山高ク峙ツ、其山麓ハ、五箇
 山ト呼ブ、別郷アリ、大門山ハ、加賀ニ跨リテ、連山ニ帶、北ニ
 赴キ、地勢ノ經界ヲ限リテ、其隅ヲ礪波山トス、即粟殼峠ト

川、壽永中、木曾義仲ノ平軍ヲ鏖殺セシ處ニシテ、今尚源氏
 峯等ノ舊稱アリ、其脈東北ニ走リテ、能登ノ界ニ、三國寶達
 石動ノ諸山相亘リ、正北ノ海岸ニ至リテ盡ク、山嶽ノ西面
 國ノ海岸ハ彎曲シテ、一大灣ヲ成ス、正中ヲ岩瀨港トシ、東
 二里ヲ水橋トシ、又三里ヲ魚津トシ、又東三里ヲ新濱トス、
 是ヲ灣ノ東端トナス、更ニ沿岸五里ニシテ、宮崎ニ至ル、○
 冰見放生津ノ兩瀉ハ、灣ノ西北濱ナル小湖ナリ、冰見稍小
 ニシテ、又布施湖ト云フ、亦義仲ノ馬ヲ放テ、其深淺ヲ驗
 セシ處タリ、湖口ヲ冰見港ト云フ、唐嶋其海上ニ峙テ、北
 ニ西嶋アリ、一國ノ海中、惟此兩嶋ノミ、○放生津ノ湖口ハ、
 卽莊川ノ海口ニシテ、伏木ト弁セテ、新湊ト稱ス、人口二萬、

國中第一ノ大港ニシテ、古國府ノ湊ト唱ヘシ者、是ナリ、
 富山ハ人口五萬ニシテ、高岡ハ二萬五千アリ、相距ル六里、
 更ニ粟殼峠ヲ超エテ、金澤ニ至ル十一里、卽北國街道ナリ、
 魚津モ海濱ノ一邑ニシテ、人口一萬、富山ノ東北六里ニア
 リテ、亦官道ノ驛路ニ係ル、
 越後七郡
 北陸中ノ大國ニシテ、東西六十里、南北八十七里ニ及ブ、故
 ニ境域ノ廣大ナルヲハ、全道ノ半ニ居リ、其沿海ハ彎曲シ
 テ、一百里ニ亘レリ、米山彌彥山、各岸上ニ聳エテ相望ム、因
 テ一國ノ形勢ヲ三分ニス、兩山ノ際ヲ中越後ト云ヒ、米山
 以西ヲ上越後トシ、彌彥ヨリ北ヲ下越後トス、國ノ中央以

北ハ、信濃川阿賀川等ノ兩岸ニ亘リテ、地勢ハ平坦ナルヲ
 ハ、三十里ニ及ブ、
 國境ハ皆重山深嶺、相圍ム、即全國ノ脊骨ナル連岳ナリ、飯
 豊山ハ、高ク正東ニ位シテ、岩代羽前ノ界ニ立ツ、大日岳其
 南ニ峙チテ、棒掛山蒜場岳等、並ビ重ル、二王子風倉及五頭
 山菱岳、相接シテ其前面ニ列レリ、大日岳ノ瀧谷、及二王子
 岳ノ七瀧澤等ハ、共ニ數十丈ノ大瀑布アリテ、下流ハ加治
 川トナル、○以東岳ハ、羽前ノ朝日岳ニシテ、別峯ノ三稜ヲ
 ナス者ヲ、三面山ト云フ、其南ニ光免山アリ、北ニ鷲巢山ア
 リ、高根鳴海ノ諸山、其脈ヲ受ケテ、北境ヲ限リ、葡萄山ニ西
 峯南峯アリテ、海府ノ岸ニ盡ク、

守門岳ハ、東南ノ大岳ニシテ、山背ヲ岩代トス、會津ノ通路
 ハ六十里越、其南麓ヲ貫キ、八十里越、其東北ヲ環ル、共ニ谷
 間ノ一路ノ之、破間五十嵐川谷田ノ諸川ハ、皆源ヲ此深谷
 中ニ發セリ、○五剣谷岳御神樂岳、間見岳ハ、守門大日兩岳
 ノ間ニ連リテ、高峻相若ク、粟岳其西ニ秀テ、三峯並ビ立
 ツ、山中ノ大瀑布ヲ三十三丈瀧ト云フ、加茂川ノ源ナリ、菅
 名岳ハ、粟岳ノ北ニ峙チテ、阿賀川ノ岸ニ臨ミ、菱岳ト相對
 シテ、津川郷ノ西境ヲ限レリ、
 三國峠ハ、正南隅ニシテ、上野信濃ニ跨ル、北陸官道ノ三國
 通ト呼ブ者ハ、此嶺上ニ由ルヲ以テナリ、大劍田山飯土山
 ハ、海山中岳等ハ、其北ニ連リテ、守門岳ニ接ス、○苗場山ハ、

三國峠ノ北ニ立チテ、雁峯、菱岳等、其西ニ列リ、南ニ環リテ、斑尾山トナリ、共ニ信濃ノ境ヲ限レリ、大隈田山、野土山、妙高山ハ、西南隅ノ噴火山ナリ、神名茶臼及燒山等、相重リテ、戸隱山ニ接ス、山中ニ苗名瀧アリ、又山麓ニ關山、赤倉等ノ温泉アリ、○蓮華山ハ數峯並ビ立チテ、越中ニ界ス、南ノ乘鞍岳ハ、噴火山ニシテ、北ノ袴腰山ヲ裏蓮華ト呼ブ、山中ノ温泉ヲ黄金湯、素湯、黑湯ト云フ、群山相重リテ、直ニ海岸ニ亘レバ、十餘里ノ間、又通路ナシ、故ニ北國ノ官道ハ、僅ニ沿海ノ一條アルノミ、

千曲川ハ、其上流ノ國名ニ就キテ、信濃川ト呼ブ、本嶋第一ノ巨流ニシテ、北陸、七河ノ最大ナル者ナリ、然レ中間ニ舟

運ヲ絶テル處アレバ、甚其便利ヲ欠ク、國境ハ大瀧ノ下流ニ當リテ、奔流ノ瀑布ノ如キ者數十處アリ、是ヲ總瀧ト云フ、中津、清津ノ兩川ヲ納レテ、北ニ赴ク十餘里、十日町ヨリ、始テ舟行ヲ通ゼリ、川口ニ至リテ、魚沼川ト相會ス、水勢益其大ヲ致シテ、西ニ折レ、小千谷ヲ過ギテ、澁見川ヲ納レ、又北ニ轉ジテ、長岡ニ至ル、山圍始テ解ケテ、兩岸ノ地、悉平坦ナレバ、環流二十里、與板ヲ過ギテ、支川兩派ヲ西北ニ分チ、又刈谷田、五十嵐、加茂ノ三川ヲ合セ、小阿賀川ヲ受ケテ、西ニ環リ、西川、中口川ノ兩支川ハ、鎧瀧ノ下流ト、共ニ南ヨリ入リ、栗木川、新川ハ、東ヨリ來リテ、同ジク其河口ナル新瀧港ニ入ル、此川ハ國境ヨリ四十里、其上流ニ遡レバ、一百里

二及ビ、下流ハ幅ハ水面五百間、國內ノ水注入スル者甚多ク、俗ニ八千八水ト云フ。○魚沼川ハ常ニ魚野川ト呼ブ。大劍田山ヨリ出テ、北ニ流ル、十八里、六日町五日町ヲ過ギテ、四日町ニ至リ、破間川ト合ヒテ、西ニ折レ、三里ニシテ、川口ニ會ス。六日町ハ三國通ノ驛路ニシテ、以下舟運ヲ通ズル三十四里、漕輸ノ利ハ實ニ此川ニ因ルト云フ。○阿賀川ハ岩代ノ會津ヨリ來リテ、大山脈ノ中間ヲ貫キ下リ、津川ニ至リテ、始テ舟行ノ便アリ。菅名岳ノ峽際ハ急激六里ナレバ、以西ハ兩岸總テ平遠ナリ。加治川及福嶋瀉等ヨリ并セテ、其幅四百間、國境ヨリ北流二十餘里、昔時ハ信濃川ニ會流セシガ、歳々水害ヲ蒙ルヲ以テ、本川ヲ松崎ニ決

シ、始テ其災ヲ免ルト云フ。然レバ、尚中央ヨリ小阿賀川ヲ分チ、又新川ヲ兩河口ノ間ニ通ジテ、共ニ運漕ノ便ヲ開ク。○福嶋瀉ハ越湖ト云フ、周回四里、國中ノ大湖ナリ、鎧瀉ハ菱湖ト云フ、其水北ニ流レテ、又田瀉大瀉トナリ、竟ニ西川ニ入ル、其西ノ海濱ニ左瀉アリ、烏屋野瀉ハ信濃川ノ北岸ニ接シテ、栗木川ノ源ナリ。○荒川ハ東西兩川アリ、東ナル者ハ羽前ヨリ來リテ、西流十里、飯豊以東、兩岳ノ峽間ヲ下リテ、沼川胎内川ヲ合セ、其海口ヲ桃崎港トス、其北ニ三面川アリ、以東岳ヨリ出テ、西南ニ流ル、二十里、高根相古ノ兩川ヲ合セテ、瀨波港ニ入ル。○西ノ荒川ハ上流ヲ關川ト云フ、苗名瀧ヨリ出ヅル

者ニシテ、信濃ノ境ニ沿ヒ野尻沼ノ下流ヲ受ケテ、北ニ折レ、頸城郡ノ中央ヲ流レテ、別所矢代及岡川等ヲ合セ、高田ヲ過ギ、三里ニシテ、保倉川ト、其二直江津ニ注グ、其西ニ姫川アリ、源ヲ信濃ノ西北山中ニ發シテ、北ニ流ル、十七里、蓮華山ヨリ出ヅル大所川小澤川ヲ合セテ、海ニ入ル、此國ノ海岸ハ、大率平坦ナレドモ、北隅ニ海府ノ嶮岨アリ、西隅ニ親不知ノ險路アリ、中央モ亦米山岬及濱浦等アリ、○海府ハ瀨波港ヨリ、畿關ニ至ル十里、海岸悉斷崖ニシテ、崖上僅ニ一路ヲ通ズ、海中モ危礁亂立シテ、舟ヲ繫グヲ能ハズ、其海上六里ニ、粟生嶋アリ、嶋峯ヲ小柴山ト云フ、四面共ニ絶壁ニシテ、前濱僅ニ小灣アリ、此國ハ惟此一嶋ノミ、

○親不知ハ、越中ニ接シテ、沿海五里、其路ハ斷崖ノ下ニ亘レリ、蓋風浪來リ擊ツ氏ハ、父子モ相救フニ暇アラズ、故ニ此名アリシガ、近來崖上ノ新路ヲ開ケリ、○田尻鼻ハ、米山ノ岬端切斷シテ、壁立五十丈、二條ノ瀑布直ニ懸リテ、海中ニ落ツ、其二白絲瀧ト云フ、○濱浦ハ、彌彦山ノ麓ニアリ、彌彦ハ、角田山下、相並ビテ、其岸下ハ、崑洞石窟等、相並ヅテ、五里、○此四處ハ、其奇險ヲ極ムト雖、其景色モ亦奇絶ナル者トス、其他ハ、椎谷大崎、鳥首崎、能生崎ノ數岬アリ、上越後ハ、頸城一郡ノ稱ニシテ、南ハ信濃ノ北端ヲ受ケテ、地幅甚狭シ、國境ノ關川驛ヨリ、直江津ニ至ル十里餘、西ハ妙高山、蓮華山、相重リテ、北國街道ハ、其山下ノ海濱ニ亘リ

テ直江津ヨリ國境ニ至ル二十里是ヲ山下通ト稱ス能生
 絲魚川等ノ諸邑アリテ其隅ハ親不知ナリ○秋山ハ東隅
 山際ノ別郷ニシテ温泉アリ山中ノ水北ニ流ル者ハ澁
 見川トナリ西ニ環ル者ハ保倉川トナル鍋立山ハ菱岳ト
 相對シテ正北ニ立テ郡ノ北境ヲ限リテ米山ニ接ス○高
 田ハ人口二萬ニシテ新潟ニ至ル三十三里又信州通ノ官
 道ニ當リテ長野ト相距ル十六里邑西ニ春日山アリ上杉
 氏三世ノ居城趾今尚存セリ直江津ハ今町ト呼ブ北國官
 道ニ當リテ且舟舶ノ便アリ此港ヨリ信越鑛道ヲ通ゼン
 トシテ既ニ其工事ヲ起セリ港ヨリ東ハ平坦ナル砂路ニ
 シテ瀉町柿崎ヲ暨テ鉢崎ニ至ル六里即米山ノ麓ナリ

中越後ハ東西兩地ニ分ル黑姫山ハ鍋立山ト相接シテハ
 石外形小木ノ諸山相列リ西北ニ亘リテ國上山ヨリ彌彦
 山ニ連ル山西ハ海濱十七里ニシテ其間ニ三港アリ柏崎
 出雲崎共ニ人口一萬ニシテ寺泊ヲ佐渡ノ渡津トス鯖石
 川ハ八石山ノ不動瀧ヨリ來リテ柏崎ノ北ニ注グ○山東
 ノ地ハ信濃川ノ左右ニ亘リテ地勢平坦ナリ其東北山際
 ノ別郷ヲ椽尾ト云フ○長岡ハ人口一萬ニシテ三國通ノ
 官道ニ當ル長生橋ヲ信濃川ニ架シテ舟運ヲ新潟ニ通ス
 ル十六里近來小湊船ノ往復アリ
 蒲原ハ國ノ大半ニ占ムル大郡ナリ北ハ岩船郡ニ亘リテ
 下越後ト總稱ス其東隅ヲ津川郷トス常ニ岩代會津ニ

屬シテ其北運ノ要津トナセリ、以西ハ地勢甚平遠ニシテ、
 海濱ニ至ル六七里、其南北ハ三十里ニ及ベリ、其間多クハ
 卑濕ニシテ、泥澤ナリシガ、開墾其功ヲ積ミテ、平田遠ク連
 レリ、(一)海濱ハ濱浦ヨリ、海府ニ至ル、平砂二十里、其海上モ
 一帯ハ暗洲アリテ、信濃阿賀ノ兩大河、及荒川ノ海口、僅ニ
 斷絶スル處アルノミ、舟人コレヲ一瀨ニ瀨ニ瀨ト呼ブ、(二)
 郡中ハ大邑頗多シ、山麓ニ村松、五泉アリ、河岸ニ三條、加茂
 アリ、平野ニハ新發田、水原アリ、其北隅ニ岩船村上アリ、新
 發田ハ人口一萬ニシテ、新潟ノ東北七里ニアリ、東ハ津川
 ト相距ル十里、新發田川ハ加治川ノ上流ヲ分レテ、邑南ヲ
 過ギ、平野ノ間ヲ環流シテ、西ニ赴キ、福嶋瀨ヨリ來ル新郷

川ト共ニ松崎ニ注グ、三條モ人口一萬五十嵐川ノ河口ニ
 シテ、信濃川ニ臨ミ、長岡ト相距ル六里、亦河運ノ便利アリ、
 新潟區ハ五港ノ一ニシテ、明治二年ニ互市場ヲ建ツ、信濃
 川ノ南岸ニ臨ミテ、人口四萬アリ、市街ハ古町、新町ニ分レ
 テ一番町ヨリ、十二番町ニ至ル、東京ノ官道ハ兩路アリ、三
 國通ハ相距ル九十里、信州通ハ更ニ二十八里ヲ加フト云フ、
 此港ノ繁盛ハ北陸第一ナレドモ、海口ノ流砂、常ニ其航路
 ヲ定メザレバ、大船久シク碇泊スルヲ能ハズ、日和山ニ燈
 臺ヲ建テ、入港ノ標準トナス、(三)沼垂ハ港ノ北岸ニアリ
 テ、新川ノ南口ニ臨ム、昔時ハ一郡ノ稱ナルガ、今僅ニ邑名
 ヲ存スルノミ、

此國ハ北海ヲ受ケテ、氣候甚寒烈ナリ、積雪早ク降りテ、遲ク消ユ、故ニ雪國ノ稱アリ、又温泉甚多久、総テ百餘所アリ、其浴客最盛ナル處ヲ湯澤、村杉、矢田、關屋、貝掛、椽尾、又松山、關山、赤倉等トス、又火井アリ、人家ノ地爐中ニ管ヲ立テ、火ヲ引キテ以テ煮焚燈燭ノ用ニ供スベシ、俗ニ圍爐裏火ト呼ブ、此井ハ魚沼郡ニ二處アリ、頸城郡ニ四處アリ、蒲原ハ五井ニシテ、如法寺村最盛ナリ、然レモ柄目木村年月殊ニ久シケレバ、世人常ニ柄目木火ト稱セリ、又石腦油ノ産處ハ、頸城、刈羽、三嶋、蒲原ノ四郡ニ於テ、三十七處アリ、
佐渡三郡
 日本海中ノ大嶋ニシテ、越後ノ西北十里ニアリ、此嶋ハ金

銀諸鑛ニ富ムヲ以テ、其名殊ニ高シ、蓋其開坑ハ、文祿年間ニシテ、上杉氏ガ所領トセシ時ニアリト云フ、其採掘ノ盛ナルハ、慶安中ニ起リテ、爾後二百三十年ノ今日ニ至リ、一年ノ製煉スル者ハ、一百五十萬貫ニ及ブ、山ノ列テ、西ノ東ノ嶋ノ周圍ハ、五十三里、兩條ノ山脈、其前後ニ列リテ、遠ク望メバ、二嶋ノ如シ、東西ノ岸ハ、海水深ク入りテ、共ニ大灣ヲ抱ク、沿岸ハ、港泊頗多シト雖ドモ、危岬斷崖、相列リテ、海上モ二百三十餘箇ノ暗礁相並ブ、而テ其舟行ノ妨碍ヲナサバル者ハ、僅ニ十餘礁ニ過ギズト云フ、
 金北山ハ、嶋北中央ノ高峯ナリ、二嶽、橫枕山等、其左右ニ並ビテ、東北ハ、五月雨山、檀特山、金剛山等、相列リテ、其端ヲ彈

崎トス北端ノ大岬ナリ連山ノ陰ハ外海府ト呼ビテ西ニ
 姫津港アリ山際ノ水相集リテ石花川トナル○一頭山經
 塚山及米山等ハ嶋南ノ連山ナリ南端ニ鶴峯アリテ其岬
 ノ澤崎ハ西南ニ突出ス山下ノ海岸ハ南ヲ前濱ト云ヒ東
 ヲ東濱ト云フ羽茂川ハ經塚山ヨリ出テ前濱ニ注グ○
 南北兩連山ノ際ハ東西兩海灣ノ涯ニ亘リテ平坦ナルト
 五里國府川其間ヲ環リ流レテ西南ニ赴キ真野石田ノ諸
 川ト共ニ西灣ニ入ル真野山ニ順德帝ノ山陵アリ河原田
 ハ石田川ノ河口ニ臨ム本間氏世々此國ノ守護トナリテ
 此地ニ居リシガ天正五年遂ニ上杉氏ニ併セラレタリ
 加茂瀉ハ周回五里ニシテ五月雨山ノ麓ニ亘ル湖口ハ夷

町湊町相夾ミテ東灣ノ正中ニ當ル水深クシテ舟舶ノ利
 アリ港ヨリ北ハ内海府ト呼ビテ彈崎ノ陰ニ鷺崎港アリ
 ○真野入江ハ西灣ノ中央ニシテ雪高濱越長濱等ノ名勝
 アリ臺鼻ハ灣ノ西北ヲ抱キテ岬内ニ見港アリ
 小木赤泊ノ兩港ハ前濱ニ臨ミテ越後ト相對ス赤泊ヨリ
 寺泊ニ至ル海上十里アリ小木ハ其西ニアリテ内外兩灣
 水共ニ深シ○東濱ノ北隅ニ水津港アリ港上ノ濡木崎ハ
 米山ノ山脚ニシテ遙ニ彈崎ト相望メリ
 相川ハ嶋ノ西岸ニ臨ミテ人口一萬アリ河原田ヲ經テ赤
 泊ニ至ル九里此地ハ金銀鑛ノ製煉場ニシテ頗繁盛ナル
 一邑ナリ

物産

全道河海ノ産大率相同ジ若狹ノ鯛鯨能登ノ鯨鯨等ヨリ
氷見鰯ヲ越中ノ佳品トス越後ノ鮭鱈ハ最良産ニシテ鯉
鱸鯖鮫等實ニ數十品ノ多キニ及ベリ佐渡能登ハ海藻ヲ
産シテ石花菜石髮草及海苔海布ノ類アリ諸國ノ山谷ニ
ハ獸皮材木ヲ出シテ白山ノ熊膽ヲ價ノ貴キ者トス養蠶
モ亦各地其業ニ就ケリ又茶烟草ノ産アリ製造ノ品ハ越
前ノ蚊帳加賀ノ管笠ヲ始トシテ漆器ハ若狹塗輪嶋塗ア
リ高岡魚津モ亦同器ノ精良ナル者ヲ製ス銅器ハ高岡ノ
高彫金澤ノ象嵌最其巧妙ヲ極ム金澤ハ又黒梅染錦手焼
等ノ製品アリ而テ九谷焼ヲ陶器ノ精美ナル者トシテ相

川ノ無名異焼ヲ別種ノ雅品トス布帛ハ越前ノ奉書紬越
中ノ五郎丸布越後ノ五泉平佐渡ノ裂織等ニシテ小松絹
小千谷縮ハ直ニ其國名ヲ呼ビテ加賀絹越後縮ト稱ス縮
布ハ多クハ魚沼郡ノ産ニシテ其婦女ガ積雪中ノ作業ニ
係ルト云フ白紺編綴等各村ノ專色アリテコレヲ四方ニ
鬻ク者ハ一年常ニ數千萬段ニ及ブ富山ノ賣藥モ亦行商
ノ更ニ盛ナル者ニシテ畿内八道共ニ到ラザル處ナシ亦
産物中ノ一種トナスベシ紙ハ越前奉書其品十八種アリ
共ニ精滑ニシテ他國其比ナシ又坂井ヨリ大高紙ヲ出シ
敦賀ヨリ鳥子紙ヲ出セリ加賀ノ中折杉原及越中ノ八寸
鳥子モ亦紙中ノ良品ナリ飲食物ハ七尾酒ヲ第一トス福

井ノ雲丹ハ世ノ賞味殊ニ高シ、菓子ハ金澤ノ御所落雁、長岡ノ越廼雪、高田ノ翁飴等ニシテ、食鹽ハ嶋地宮崎濱浦ニ製鹽場アリ、抑各種礦物ノ北陸ニ出ヅルハ、其來ル最久シ、天智帝ノ時ニ、越國ヨリ燃土、燃水ヲ獻ズトアリ、即泥炭石腦油ニシテ、油ハ俗ニ臭水ト呼ブ、其他ハ若狹ハ碁石硯石、越前ノ砥石、青石ヨリ、加賀ニ切石アリ、能登ニ石炭アリ、越中ハ硝石、硫黃ニシテ、越後佐渡ハ、瑪瑙ヲ産セリ、金屬ノ諸礦ハ、越後ニ金銀銅鐵アリテ、越前ハ銀及銅鉛ヲ出ス、佐渡ハ金銀ハ開坑以來、殆三百年、故ニ既ニ佐渡ノ土ト呼ベ、直ニ貨幣ヲ通稱トナルニ至レリ、

北海道

北海道ハ正北ノ一大嶋ト、二十餘箇ノ連嶋トヲ合セテ、新ニ建置セシ一道ナリ、其大嶋ヲ分チテ、渡嶋後志、石狩、天鹽、膽振、日高、十勝、釧路、根室、北見ノ十國トシ、其連嶋ヲ千嶋國トス、蓋此大嶋ハ東西百七十里、南北百二十里、其周回五百八十里、即尾ヲ奮フノ鯨魚ニシテ、宗谷襟裳ノ兩岬、南北ニ突出シテ、中腹ノ兩角ヲナシ、以西ハ地勢左右ヨリ、次第ニ相逼リテ、其尾ハ南ニ向フ、後志、膽振ノ兩國ハ、尾ノ前後ニ亘リテ、其南端ノ渡嶋國ハ、日本嶋ト相對ス、東北隅ハ、納沙布知常ノ兩岬相望シ、テ根室ノ大灣ヲ擁シ、其狀口ヲ開クガ如シ、千嶋ノ連嶋、並ビ連リテ、東北ヨリ來リ、相追ヒテ、口

内ニ入ル是全道ノ大勢ナリ、嶋中ハ山岳相重リテ噴火山
甚多シ、石狩十勝夕張天鹽ノ諸大岳ハ大嶋ノ中央ニ峙キ
云、山脈ヲ四方ニ起セリ、西ニ亘リテ後志岳トナリ、遂ニ南
ニ赴ク者ハ即本嶋ニ連ル大山脈ナリ、阿寒摩周ノ諸山ハ
東方ニ並ビテ直ニ千嶋連峯ノ脈ヲ受ケ、別ニ支脈ヲ東北
ニ分キテ、其端ヲ知常崎トナル、又夕張岳ヨリ正南ニ直行
スル者ハ襟裳崎ニ絶エ、天鹽岳ヨリ西北ニ迂回スル者ハ
宗谷崎ニ盡ク、此連山ハ即地勢ヲ區分スル者ニシテ、日高
十勝釧路ノ三國ハ太平洋ニ向ヒ、膽振ト合セテ東地ト稱
ス、其海岸百七十里、海底悉淺沙ニシテ、僅ニ室蘭厚岸ノ兩
港ナルノミ、石狩天鹽ハ共ニ日本海ニ臨ミ、後志ニ亘リテ

西地ト呼ブ、沿岸百三十里、大率斷崖危岬、相列レドモ、舟泊
ノ地頗多シ、北見ハ正北ノ海岸ニ亘リテ、全ク蝦夷海ヲ受
ク、此海ヲ魯西亞人ハ阿哥斯科海ト稱セリ、○抑此嶋ハ蝦
夷嶋ニテ、近世ニ至ルマデ、尚土夷ノ住地タリ、其大嶋ニ住
スル者ヲ愛乃ト稱シ、千嶋ニ居ル者ヲ久留武勢ト呼ブ、其
ニ文字ヲ知ラザレドモ、一種ノ方言アリ、男女ノ衣服ハ獸
皮樹皮ヲ用キ、被髮徒跣ニシテ、山獵海漁ヲ業トス、上世ハ
奥越ノ土夷ト別キテ、渡嶋蝦夷ト呼ブ、齊明帝ノ時ニ、阿部
比羅夫ノ來リテ、政所ヲ後志ニ建テ、膽振等ノ郡領ヲ置キ
シハ、此嶋ニ事アルノ始ナリ、其後百五十年、坂上田村麻呂
征夷十餘年、悉奥越ノ土夷ヲ驅リテ、此嶋ニ追ヒ退ケ、松前

海峽ヲ其經界ト定ム、元慶中、出羽ニ夷俘ノ亂アリシ後、此嶋ノ蝦夷モ亦内屬スト云フ、然レ海水ヲ隔テシ絶嶋ナレバ、尚夷地ニ委スルト三百年、源義經ノ陸奥ヲ逃ル、ヤ、蝦夷嶋ヲ經歴シテ、土人ニ弓矢耒耜ノ用ヲ教ヘシカバ、各地夷人尊ビテ中興ノ神人トナスト云フ、嘉吉中津輕ノ人安東教季始テ渡嶋ニ來リテ、土夷ヲ撫從シ、其屬蠣崎季繁大ニ境域ヲ廣ム、寶徳中若狹ノ人武田信廣來リテ、其女婿トナリ、攻撃順撫ノカヲ盡シケレバ、屬從スル者頗多シ、遂ニ居城ヲ松前ニ築キテ、全嶋ヲ領ス、徳川氏ノ時ニ魯西亞國ノ其隣境ニ逼リ、英吉利國モ亦東洋ニ意アルコトヲ知レバ、守禦撫育ノ方略ヲ定メントテ、寛政十一年、全嶋ヲ收メ

テ官地トス、文化三年、魯人果テ千嶋宗谷ヲ侵シ、數年ニシテ事纔ト止ム、爾後五十年、其兩國ト通信ヲ結ブニ及ビテ、箱館港ヲ互市場ト定ム、明治二年八月、北海道十一國ヲ建テ、開拓使ヲ置キテ、開墾ノ事ヲ掌ラシム、此時千嶋ハ僅ニ兩嶋ニシテ、北蝦夷ト呼ビ來リシ樺太嶋ハ魯國ト兩屬ノ地ナリシガ、八年五月、土地交換ノ議ヲ決メテ、樺太ヲ全ク彼ニ附シ、千嶋ハ悉ク魯國ニ屬セシム、全道ノ經界始テ定ル、其地曠漠ニシテ、氣候最寒烈ナレバ、積雪ハ終年消ケズ、春冬ハ山路皆埋リテ、海水悉ク凍ル、故ニ行路舟運、共ニ通ズルコト能ハズ、然レ開拓ノ法既ニ其事業ヲ進メテ、道路、渡津等、凡ニ備ル、全道ノ人口二十三萬ニシテ、土人ハ僅ニ一萬餘

曰アルノミ、十五年二月、開拓使ヲ廢シテ、新ニ箱館札幌根
室ノ三縣ヲ置ク、是ニ於テ全國同業ノ政治トナレリ、
渡嶋六郡、
渡嶋ハ全嶋ノ古名ナリ、新ニ國郡ヲ建ツルニ及ビテ、其南
端ノ定名トナル、○此國ハ東南西ノ三面、其ニ海ニ臨ミテ、
北ハ膽振後志ノ兩國ニ接ス、大山脈ノ兩國ノ間ヨリ來ル
者ハ、中央ヨリ左右ニ分レテ、其端ハ惠山、白神、
兩岬トナ
ル、岬ヨリ岬ニ至ル、東西三十五里、即松前海峽ナリ、陸奥ト
相對シテ、其際五里ヨリ十三里ニ及ブ、北、
山岳ハ中央ニ重ル者ヲ雄鉾見日、黑瀧、濁川ノ諸山トス、分
レテ西ニ赴ク連山ハ、笹山、鍋岳、尖岳等ニシテ、又兩脈トナ

ル、
軒岳地藏岳ハ、南ニ亘リテ、白神崎ニ盡キ、知内岳ハ東
南ニ列リテ、其端ヲ矢越崎トス、知内峠ハ、嶮坂七里ナレド、
箱館福山ノ通路ニ係レリ、○横津岳、三森、大川、岳、熊泊、岳、等
ハ、濁川岳ヨリ東南ニ走リテ、惠山ニ接ス、惠山大川岳ハ、其
ニ噴火山ナリ、○茅部岳ハ、駒岳ト呼ブ、又火山ナリ、山ヨリ
西北ハ、膽振ト海灣ヲ抱キテ、其沿岸ハ三十里ニ及ブ、是ヲ
内浦ト云フ、山下ノ森村ハ、官道ノ渡津ニシテ、室蘭港ニ至
ル、舟程十二里、又箱館ト相距ル十一里、新ニ馬車道ヲ開キ
テ、往復ノ便ヲナセリ、
一國ノ川流ハ、皆此重山ノ間ニ發シテ、三方ニ分レ流ル、厚
澤部最大ナリ、濁川岳ヨリ出デ、西ニ流レ、其河口ヲ柳崎

ト云フ落部川有川毛其ニ源ヲ同岳ニ發シテ落部ハ内浦
ニ注ギ有川ハ南流十二里ニシテ箱館港ニ入ル
箱館區ハ人口三萬アリ五港ノ一ニシテ安政五年横濱長
崎ト共ニ外國互市場トナヌ箱館山ハ海中ニ立チテ其南
面ハ松前海峽ニ臨ム北麓ヨリ一條ノ沙洲相亘ル一里
以テ海港ヲ抱ク灣内方一里其水深クシテ四時共ニ風浪
ノ患ナク舟船ノ出入常ニ其便ヲ得レバ全國無比ノ良港
ト稱セリ街市ハ山麓ヨリ洲上ニ連リテ山腹ニ公園ヲ設
ケ其西端ニ砲臺ヲ置ク○龜田ハ灣ノ北隅ニシテ五稜郭
アリ其近地ハ桔梗野七重濱等相列リテ地勢頗平坦ナリ
北ハ又有川ニ沿ヒテ大野ニ連レリ○福山ハ箱館ト相距

ル二十五里即松前氏ノ舊城地ニシテ一萬五千ノ人口ア
リ此港ハ白神崎ノ西北ニ在リテ港口ハ日本海ニ向フ其
海上ニ大嶋小嶋アリ江差港ハ福山ノ北十七里ニシテ人
口一萬アリ西海岸ニ臨ミテ港内ニ鷗嶋アリ是ヨリ北ハ
柳崎熊石等相列リテ後志ニ亘レリ

後志 十七郡

阿部比羅夫ノ蝦夷嶋ニ來リシヤ土夷ヲ撫從シテ政所ヲ
後方羊蹄ニ置クト今其舊趾ヲ存セズ後志岳ハ雌雄ノ兩
峯アリ雌岳頗高峻ニシテ蝦夷富士ト稱ス此山ハ全嶋ノ
連山ヲ集メテ本嶋ノ大山脈ヲ起ス者ナリ昆保岳蟹寒岳
等ハ南ニ列リテ膽振ト腹背ヲナシ太平太櫓ノ諸岳トナ

リテ、渡嶋ノ群山ニ亘レリ。○余市岳古平岳高嶋山等ハ別ニ山脈ヲ起シテ、西北ニ赴キ、海中ニ突キ出デ、積丹岳ニ盡ク、其端ノ神威崎ハ、西地第一ノ大岬ナリ。○雷電山ハ直ニ海岸ニ峙チテ、山中ノ温泉ヲ、湯有内ト云フ。山腹ハ峻險五里、是ヲ雷電岬ト呼ビテ、西地ノ官道トス。此山ハ辨慶崎ト、相對シテ海灣ヲ抱キ、壽都歌棄ノ兩港、其灣内ニ臨ム。壽都ヨリ山路ヲ開キテ、内浦ノ岸ニ通ズル者ハ里、是ヲ黒松内ト云フ。○西地ノ山脈ニ至リテ、其内ニ積丹川アリ。此國ハ地幅ノ狭キヲ以テ、川流共ニ長大ナラズ、南ニ利別川アリ、蟹寒岳ヨリ出デ、環流三十里、北ニ後志川アリ、後志岳ノ麓ヲ環リテ、西ニ流ル、二十里、其他ハ太櫓朱太掘

株ノ諸川皆西海岸ニ注ギ、積丹川余市川ハ、共ニ北海岸ニ入ル。○奥尻嶋ハ、周回十四里、東北ニ山瀨泊アリテ、南隅ハ大田崎ト相對ス、即一郡ノ地ナリ。○此國ノ形勢ハ、神威崎ヲ以テ、海岸ヲ兩面ニ開ク、積丹、美國、古平、小樽等ノ七郡ハ、北ニ向ヒテ、石狩ト海灣ヲ抱ク、古宇岩内、磯谷、壽都、太櫓等ノ九郡ハ、西ニ向フ、兩海岸ノ通路ハ、西岸ノ岩内ヨリ、北岸ノ余市ニ至ル十二里、其間ニ九里ノ險路アリ、是ヲ余市越ト云フ。○岩内ハ港東三里ニ石炭山アリ、故ニ缺路ヲ敷キテ車運ヲ便ヲナセリ、此港ハ壽都ノ北十里ニアリテ、其間ヲ雷電岬トス。

小樽港ハ、北海岸ノ東隅ニシテ、石狩ノ界ニ接ス、本泊崎出

テ、灣内水極テ深シ、西地ノ要港ナレバ、人口一萬アリテ、其繁盛ハ、箱館ニ次グ、汽車ノ鐵道ヲ札幌ニ通ズル十里、又西ハ余市ト相距ル六里ニシテ、北ハ石狩川ノ海口ニ至ル九里、石狩川ノ源ハ、余市ノ北ニシテ、北ハ石狩川ノ海口ニ至ル九里、石狩川ハ、全道最大ノ河流ニシテ、本邦第一ノ巨川ナリ、其流百七十里、西ノ父河ト呼ブ、源ヲ石狩岳ニ發シテ、二條ノ大瀑布トナル、其高各百五十丈、西ニ流レテ、曠原ノ間ヲ環ル、此地ハ上川郡ニシテ、土人ノ住居アリ、川流ハ神古丹ニ至リテ、兩山ノ際ニ入ル、水勢急駿ナレバ、上川ノ通路ハ、僅ニ此一條アルノミ、峽際ヲ過グレバ、雨龍川北ヨリ入り、空

知川南ヨリ注グ、其河岸ニ就キテ、各一郡ヲ建ツ、以下ハ國内ノ諸水ヲ合セテ、平野ヲ環流シ、江別對雁茨戸ヲ過ギテ、石狩港ニ入ル、此川ハ、其水面頗緩漫、如キモ、水底甚急流ナリ、故ニ既ニ海中ニ入レドモ、餘勢尚數里ノ外ニ及ビテ、水中明ハ鹹淡ニ分ツト云フ、鮭魚ノ漁獵最盛ナレバ、河口ハ舟船常ニ來リ集レリ、○夕張川ハ、夕張岳ヨリ出テ、西ニ流レ、良雲沼トナリテ、膽振ヨリ來ル、十歳川ト合ヒ、北ニ環リテ、江別ニ會ス、豊平川ハ、札幌岳ニ發シテ、河岸ニ丈山谷ノ温泉アリ、下流ハ石狩川ニ注グ處ヲ對雁トス、此國ハ、地勢平坦ニシテ、石狩川ノ左右ニ亘リ、南北二十里、東西三十里、又岡阜ナシ、○石狩岳高ク、東隅ニ立チテ、其南

ヲ夕張岳トス、札幌岳ハ西南ニ峙テ、後志岳ト相接ス、
 斜芳黄金幌群別ノ連山ハ、石狩港ノ北ヨリ、海岸ニ沿ヒ、
 天鹽、暑寒別岳ニ連レリ、川ニ至リ、暑寒別岳トシテ、
 札幌區ハ、豊平川ニ沿ヒテ、新ニ開キタル街市ナリ、東西兩
 地ノ中央ニ當リテ、東ノ海岸ニ至ル十七里、而テ箱館ト相
 距ル五十八里、街市ヨリ其近村ヲ合セテ、人口ハ一萬ニ過
 グ、豊平川ノ水ヲ分チテ、新川ヲ茨戸ニ達シ、以テ運漕ニ便
 ニス、又鐵道ヲ東ニ築ク、十五里、江別ヲ經テ、空知ノ幌内
 石炭山ニ通ゼリ、區内ニ農學校、工場、紡織場、家畜房等ヲ
 設ケ、又偕樂園、博物館ノ建置アリ、

天鹽 六郡

天鹽川ハ、石狩川ニ對シテ、西ノ母川ト呼ブ、西流七十里、其
 上流ヲ上川郡トス、名室、劍淵ノ兩川ヲ合セテ、愛内川ト會
 スル處ヲ中川郡トス、此兩郡ハ、土人ノ住居スル處ナリ、薰
 音風音兩山ノ際ヲ環リテ、猿別川ト合ヒ、其海口ヲ天鹽ト
 云フ、留萌川ハ、幌尻山ヨリ出デ、西ニ流ル、十四里、此他
 ハ、遠、減、羽、幌等ノ小流アルノミ、
 北境ハ、十帯ノ連山相並ビテ、北見ノ境ヲ限ル、其脈ハ、東南
 隅ノ天鹽岳ヨリ、西北ニ亘リテ、散、鮭、風、音、江、谷、箱、屯、斗、諸
 山相並ブ、又薰音岳ヨリ、中央ニ亘ル連山ハ、羽幌山、幌尻山
 等ニシテ、南隅ハ、暑寒別岳ナリ、其脈西ニ環リテ、海中ニ峙
 ツ者ヲ、幌威崎ト云フ、西地第二ノ岬角ニシテ、岬上ハ、險坂

七里是ヲ石狩ノ通路トス、
 增毛港ハ幌泊ト云フ、石狩港ト相距ル二十二里ナリ、苦前
 港ハ增毛ノ北十里ニ在リテ、其海上六里ニ、燒尻天賣ノ兩
 嶋相並ブ、日本海ハ嶋嶼ハ、後志ノ奥尻ヨリ、北見ノ利尻ニ
 至ル、海上百餘里、僅ニ此兩小嶋アルヲミ、
 北見ハ郡

宗谷ハ全嶋ノ北端ニテ、樺太嶋ノ白主崎ト十二里、
 海峽ヲ夾ム、日本海蝦夷海ノ分界ニシテ、七條ノ潮路アレバ、宗
 谷七汐ノ稱アリ、○宗谷港ハ札幌ハ八十二里、北隅ノ要津
 ナレバ、灣内水淺ク、且冬、日氷海トナルト云フ、利尻嶋ハ港
 西八里ニ峙チテ、北見富士ト稱ス、周回十里、東岸ニ押泊ス

リ、禮文嶋其西北三里ニアリテ、周回十三里、此兩嶋ニテ二
 百餘口ノ土人アレバ、二郡ヲ建テタリ、
 海岸一百里、全ク蝦夷海ニ向フ、或ハ岩岬高ク、峙チ、或ハ平
 沙遠ク、亘リテ舟泊ノ處ナク、僅ニ網走ノ小灣アルノミ、海
 濱ハ猿拂網走能取等ノ湖沼多ク、中央ノ猿間沼ハ、周回十
 八里一條ノ沙路ヲ以テ海水ヲ限ルト云フ、
 渚滑川勇拂川ハ、共ニ千斗蟹牛岳ニ出テ、其西ニ富別紋別
 ノ兩川アリ、○常呂網走斜里ノ三川ハ、河岸ニ就キテ、各一
 郡ヲ置ク、常呂川ハ十勝岳ノ陰ヨリ來リ、網走川ハ源ヲ釧
 路ノ陸別岳ニ發セリ、共ニ北流三十里、○網走港ハ宗谷ト
 相距ル七十二里、又根室港ハ東南五十里アリ、

千斗蟹牛岳ハ正南ノ中央ニ立チテ石狩岳十勝岳ト相接
ス山脈ノ西北ニ赴ク者ハ天鹽ノ北境ニ亘リテ宗谷崎ニ
盡ク○斜里岳ハ釧路ノ阿寒摩周ノ山脈ヲ承ケテ別ニ連
山ヲ列ネ宗奈別硫黄茶々ノ諸山相並ビテ最端ニ初登ア
リ其岬ヲ知常崎トス即全嶋ノ東北端ナリ

膽振八郡

此國ハ繪鞆崎ヲ以テ地勢ヲ分チ東ハ太平洋ニ向ヒ西ハ
内浦ニ臨ム○太平洋ノ海濱ハ平坦ニテ日高二亘レリ其
正北ハ嶋松ヲ以テ石狩ニ接ス國境ニ山岳ナケレバ室蘭
ヨリ札幌ニ至ル三十四里亦馬車道ヲ通ゼリ内浦ノ海岸
ハ後志ト山脈ヲ分チテ北岸ヲ禮文華ト云フ岸上ニ賤川

岬ノ險路アリ以南ハ長萬部遊樂部山越内ノ諸濱相列リ
テ森林ニ至ル十五里
有珠岳ハ噴火山ニシテ後志岳ノ南ニ立チ東ニ白老岳樽
前岳アリ北ニ惠庭岳紋別岳アリ有珠沼ハ周回十里東ニ
流レテ長流別ト共ニ内浦ニ入ル惠庭岳ノ麓ニ支笏沼ア
リ東流七里千歳ヲ過ギテ又長都沼トナリ北ニ流レテ石
狩ニ入ル千歳川是ナリ凡國中ノ水ハ皆流レテ東洋ニ注
グ惟此川ノ北ニ環リテ西海岸ニ入ル
川流ノ外洋ニ入ル者ハ東隅ノ鷓川厚真川頗長流ナリ其
他ハ勇拂白老ノ諸川アリ内浦ニ注グ者ハ遊樂部川最大
ナリ其流三十里ニ及ブ長萬部ハ蟹寒岳ヨリ出ツ其河岸

ハ後志ノ通路ニシテ、即黒松内ナリ、
室蘭港ハ東地第一ノ良灣ナリ、繪鞆崎出デ、其前面ヲ避
リ、港口西ニ向ヒテ、大黒嶋其外ニ立ツ、灣内水深クシテ、春
冬モ結氷セズ、此港ハ全道ノ官道ニ當ルヲ以テ、舟舶ノ出
入、常ニ盛ナリ、○有珠港ハ、室蘭ノ西六里ニシテ、内浦ニ臨
ム小灣ナリ、下毛亦碇泊ノ利アリ、
日高七郡
此國ハ西南ニ大洋ヲ受ケテ、氣候頗温和ナリ、且土人種族
ノ初地ニシテ、沙流郡夷中ノ風俗ヲ存ス、義經ノ此嶋ニ來
リシヤ、沙流川ノ西岸ナル平取ニ城壁ヲ築キシト云フ、今
尚村中ニ義經神社アリテ、最尊崇ヲ極ム、寛永中染退ニ叛



夷アリシ時、此地ノ土人能ク其兇徒ヲ平ゲシカバ、永ク御
身方蝦夷ノ名ヲ傳ヘリ、
此國ノ川流ハ、大小三十條、皆西南ニ流レテ、直ニ海ニ入ル、
其大ナル者七川アリ、沙流、厚別、漆退、三石、鳧舞、元浦等ニシ
テ、新冠川、其中ニ冠タリ、夕張岳ヨリ出デ、其流二十六里、
○海濱ハ、膽振ノ界ヨリ、平坦相且ル三十五里、東南端ヲ襟
裳崎トス、其間ニ浦河様似、幌泉ノ三港アレド、共ニ大船ヲ
繋グコ能ハズ、様似ニ等持院アリ、有珠ノ善光寺、厚岸ノ國
泰寺ト、共ニ文化元年ノ創立ニシテ、是ヲ夷地造寺ノ初ト
ナス、

國中ノ山岳ハ、様毛、安寧、繁別、文別ノ諸山相列ルモ、甚高峻

ナラズ、東北ノ兩境ハ、連山相圍ミテ、正北ニ最高キ者ヲ、夕
張岳トス、連山分レテ、正南ニ亘ル者ハ、薩内神威、樂古、豊居
等ニシテ、十勝ノ界ヲ限ル三十里、又岬角トナリテ、大洋中
ニ出ツルノ三里、是ヲ襟裳崎トス、岬下ハ岩礁並ビ立チテ、
海路最危険ナリ、豊居峠ハ岬上ノ坂路ニシテ、峻峻十里十
レドモ、東地ノ官道ニ當リテ、人馬ヲ往來、共ニ此路ニ依ル
十勝七郡
太平洋ヲ東南ニ受ケテ、海濱ハ淺沙藪澤相列リ、其間ニ生
花苗、涌洞、長節等ノ諸沼アリテ、沿岸二十里、更ニ舟泊ノ地
ナシ、惟西隅ノ廣尾、僅ニ小舟ヲ納ルベシ、
十勝川ハ、東ノ父川ト呼ブ、南流四十四里、兩河口アリテ、西

口ヲ大津川ト云フ、其源ハ信滿山ヨリ出テ、國內ノ水、四
方ヨリ相合フ者十餘川、其最大ナル者ハ、利別ニシテ、上流
ヲ釧路ノ足寄川トス、此本支川ノ兩岸ハ、平地相列リテ、土
人ノ住スル者、千餘口ニ及ブ、故ニ上川中川、河東河西ノ四
郡合セテ四十一村ヲ置ク、
十勝岳ハ、石狩岳ト相並ビテ、全嶋ノ正中ニ立ツ、信滿山、竿
呂岳、其西ニ接シテ、夕張岳ニ連ル、神威岳ハ、西境連山中ノ
峻峯ニシテ、山勢頗奇秀ナリ、

釧路七郡

釧路岳ハ、増字西別ノ兩山、其東ニ連リ、西ハ阿寒岳、陸別岳、
相並ビテ、十勝岳ニ亘リ、因テ北見ノ界ヲ限レリ、○阿寒岳

ハ噴火山ニシテ、男峯女峯共ニ高シ、其山間ノ湖水ハ、周回
十里、岸上ニ温泉火坑アリ、其水南ニ流レテ、阿寒川トナル
○川流ノ此重山ノ際ニ發源スル者頗多シ、足寄川、網走川
ハ陸別岳ヨリ出デ、南北ニ分レ、西別標津ノ二川ハ、増宇
西別ノ山際ヨリ、東ニ流レテ、根室ニ入ル、
釧路川ハ、釧路岳ノ釧路湖ヨリ出デ、南ニ流ル、三十七
里西ノ母川ト稱ス、其上流ノ地ハ、山際湖邊ニ、土人ノ住居
スル者五村アリ、因テ川上郡ヲ置ク、山圍ノ解クルニ及ビ
テ、平野相列ル、其間ニ知植洞路ノ兩沼相並ブ、川流ハ、其水
及瀨釣川ヲ合セテ、阿寒川ト會シ、一里ニシテ、釧路港ニ入
ル、港口狭クシテ、岩礁多シ、故ニ舟泊ノ便ヲナサズ

太平洋ノ沿海ハ、港灣少ク、大船ヲ納ルベキ者ハ、室蘭ト厚
岸トノミ、厚岸ハ、釧路ノ東ニテ、根室港ニ至ルニ二十五里、西
ハ室蘭ト相距ル百十七里、灣内頗廣キモ、沿岸ニ暗礁相並
ベバ、數多ノ大船ヲ納ル、一能ハズ、港口ハ正南ニ向ヒテ、
東端ヲ床丹崎ト云フ、大黒嶋其傍ニ立チテ、入港ノ目標ト
ナル、仙鳳路モ、灣ノ西岸ニ臨ミテ、亦舟泊ノ用ニ堪フ、又港
内ニ一沼アリ、周回十里、一嶋高ク峙ツ、牡蠣ノ積ミ重リタ
ル者ニシテ、土人常ニ食料トス、○濱中港ハ、厚岸ノ東十里
ニアリテ、其海岸ハ、根室ノ花咲ニ亘ル、港口ノ一嶋ヲ、霧多
布ト云フ、

根室 五郡

此國ノ海岸ハ、納沙布崎ト北見ノ知床崎ト、兩翼ヲ開キテ、大灣ヲ抱ク。灣ノ南隅ヲ根室港トス。此港ハ北ニ向ヒテ、辨天嶋其口ニ立ツ。灣内極テ淺小ナレドモ、東隅ノ要津ニシテ、箱館港ト相距ル百六十六里。夏秋ノ際ハ、舟舶相集リテ、出入頗盛ナリ。港ヨリ西北ハ平遠ニシテ、藪澤多ク、楓蓮湖頗大ナリ。周回十五里。兩口直ニ海濱ニ接ス。西別州ハ東流三十里。河口ヲ別海ト云フ。其北ニ標津川アリ。標津川東ニ野付郡ハ、大灣ノ中央ニ出ヅル岬角ニシテ、別海ヨリ東ニ亘ル五里。岬端ハ千嶋ノ國後嶋ト相對シテ、海上七里ヲ隔ツ。○目梨郡ハ、東北隅ニ在リテ、北見ト相接ス。千勢根恩根様毛羅牛幌内ノ諸山ハ、其國境ニ亘リテ、總テ目梨岳ト呼

ブ。其端ハ即知常崎ナリ。納沙布崎ハ、正東ニ出ヅルヲ九里。全嶋ノ東端ニシテ、此地ヲ花咲郡トス。郡ノ南岸ハ、全ク大洋ニ向ヒテ、險崖十里。海上モ亦大小ノ嶋嶼相並ブ。○水晶嶋ハ、納沙布ノ岬東ニ里ニ立ツ。其海峽ヲ瑤瑤瑁ト云フ。凡東南ヨリ根室及千嶋ニ廻航スル者ハ、必此峽ヲ出入スレバ、岬端ニ燈臺ノ建置アリ。秋露鹽津多樂春川ノ諸嶋ハ、水晶嶋ノ東ニ連リテ、色丹嶋ニ連レリ。色丹嶋ハ、群嶋ノ西南ニ立チテ、周回二十二里。其北岸ニ良灣アリ。占守嶋ノ土人ヲ移シテ、新ニ一郡ヲ建テタリ。

千嶋 九郡

已上六州言夢田一
卷之六
三十一

千嶋ハ東北隅ニ並ブ連嶋ナリ、其嶋民ヲ久留武勢ト呼ベ
バ、又古利兒連嶋ノ稱アリ、大小二十八嶋相連リテ、西南ヨ
リ東北ニ亘ルヲ三百里、其狀ハ一行ニ並ビ列リテ、太平洋
ト蝦夷海トノ經界ヲナス、各嶋ノ峯多クハ噴火山ナリ、而
テ土人ノ住スル者三嶋ニ過ギス、且僅ニ千二百餘口アル
ノミ、群嶋ニ分チテ九郡ヲ建ツ、國後擇捉ハ古ヨリ我封境
ニシテ、得撫以北ハ新ニ屬シタル嶋嶼タリ、
國後嶋ハ周回七十里ニシテ、南北三十里、嶋ノ半身ハ根室
ノ大灣中ニ入りテ、野杖崎ハ野付岬ト相對ス、泊港ヲ渡津
トシテ、根室港ニ至ル十八里、東沸美祿ノ諸沼アリ、茶々登
辰丑登ハ嶋背ノ連山ニシテ、東北ノ端ヲ跡彌ト云フ、擇捉

嶋ト丹根崩海峽ヲ夾ム、峽際七里、
擇捉嶋ハ周回百五十里、其長五十里ニ亘リテ、其幅ハ十里
ニ及ブ、連嶋中ノ大嶋ナリ、雞冠散粒摸寄ノ諸山相列リテ、
東南岸ハ斷崖絶壁ナレドモ、西北ハ振別紗那葉取等ノ港
灣アリ、即擇捉等ノ四郡ヲ置ク、又流別葉取ノ兩川及内保
訪床當路等ノ湖沼アリ、又勢關千世牛ノ温泉ヨリ、東北隅
ニ刺鬼別ノ大瀑布アリ、飛流六十丈、直ニ海中ニ落ツレバ、
波浪激動シテ、其近岸ニ近クハ能ハズ、
得撫嶋ハ又臘虎嶋ト呼ブ、周回六十里、東南ニ小舟港アリ、
此嶋ハ擇捉ノ東北十五里ヲ隔テ、其海峽ヲ有里斯ト呼
ブ、總テ各嶋ノ際ハ、其二海峽ヲ夾ミテ、海潮ノ出入、殆順逆

文正日本地志各
卷之六 千島
三十五

ノ定勢ナク、且海霧常ニ深シト云フ。○塵外ハ南北ニ分レ
テ、南嶋ヲ燒氣ト云キ、北嶋ヲ禮文ト云フ、其東北ニ振頓武
埒ノ兩嶋相並ズ、諸嶋共ニ居民ナシ、里東南ニ小島有リ
新知嶋ハ、周回三十三里、東北ノ武老屯港ハ、千嶋第一ノ良
灣ナリ、北ニ向ヒテ、灣内方二里ニ亘リ、其最深キ處ハ五十
仞ニ及ブ、且四面共ニ山圍ニシテ、海風猛烈ナルモ、碇泊極
テ平穩ナリ、○毛問磨根牛知ノ諸嶋ハ、相峙チテ、東北ニ列
リ、埒輪嶋頗大ナリ、昔時ハ、土人ノ住居アリシガ、今ハ悉ク占
守嶋ニ徙リテ、新知以下ト、共ニ無人嶋ナリ、其北ニ並ブ松
輪雷苔ノ兩嶋モ亦同シ、其北ニ亘リ、其間ハ十里
占守嶋ハ、周回三十三里、連嶋ノ最極ニ在リテ、魯領ノ甘察

加岬ト古利兒海峽ヲ夾ム、兩岸ノ樹木相辨ズベシ、西南岸
ニ前羅巴港アリ、幌筵嶋ヲ乙前港ト相對シテ、共ニ舟泊
利アリ、○幌筵ハ占守ノ西南ニシテ、周回八十里、其北ニ峙
ツ小嶋ヲ洗戸ト云フ、○恩丹嶋ハ、周回二十六里、鍼丹ハ十
二里、舍丹ハ十六里、其間ニ卷類繪狩ノ兩嶋アリ、共ニ幌筵
ヨリ西南ニ亘リテ、武知嶋ハ、大小四嶋相並ビテ、新知郡ノ
雷苔ニ連ル、舍丹恩丹ノ兩嶋ハ、海獵ノ最盛ナル處ニテ、夏
秋ノ際ハ、海獸海魚ヲ獵スル者來リ集ルト云フ、
全道ノ物産ハ、其品類頗多キモ、大率皆海陸自然ノ者ニ係
ル、水産殊ニ盛ニシテ、鮭魚昆布ヲ其中ノ第一トス、鮭ハ石
狩、西別ノ兩川最夥シ、鹽引トシテ、四方ニ輸送ス

ル者毎歳實ニ數十萬石ニ及ブ、鱒、鱈、鯡、鰻、コレニ次グ、鱈ハ別ニ肝油ヲ製シテ、最良ノ藥品ヲ出ダス、鯡ハ其胎子ヲ數子ト呼ビテ、亦産出ノ多キ者トス、又鰻鳥、賊牡蠣、海參、海栗、海扇等アリ、昆布ハ内國食料ノ外、支那ニ輸出スル、極テ多シ、此他ハ海布、海苔ヨリ、石花菜、鹿角菜等ノ類ヲ産ス、鳥獸ハ、鷲、鷹、鶴、雁、及熊、羆、犬、狸等ニシテ、奇種ニハ黑狐、斑狐アリ、馬ハ寛政中陸奥ヨリ移シ、者ナルガ、今ハ牧場ヲ置キテ、種育ノ法ヲ設ク、家畜房ニハ牛、馬、豚ヲ畜ヒ、又牧羊、養豚ノ兩場ヲ置ク、鹿ハ勇拂、沙流ニ多シ、其皮角ヲ採リ、肉ハ罐詰トシテ、輸出スル者、一年ニ二十六萬箇ナリト云フ、海獸ハ得撫ノ臘虎、内浦ノ膾、胸膈、其二貴重ノ品ニ係レリ、水豹

水獺ノ海獵ヨリ、捕鯨ノ業ヲナス、樹木ハ椴、椶櫚等、種類頗多シ、又蝦夷松、落葉松アリ、遠表ト呼ブ者ハ、榆ノ一種ニシテ、其樹皮ヲ織布トス、總綆是ナリ、竹ハ積丹ノ斑竹アリ、其幹ノ斑紋ヲ用テ、各種ノ器玩ヲ製スベシ、○開拓ノ舉アリシヨリ、農業ヲ勸メ、工作ヲ起シ、麥、黍、大豆、小豆ノ諸穀ヲ始メ、麻、苧、及蘿蔔、蕪菁、菜蔬、芋、薯等、培植スル者、年々其數ヲ加フ、又製酒、製油ノ工場ヲ設ケテ、麥酒、最佳釀ノ稱アリ、養蠶製絲ノ業モ亦盛ニシテ、絲織、太織、及縮緬、海氣、博多等ノ織布ヲ製ス、又紙類、網類、鐵器、陶器ヨリ一切ノ家具ニ及ブ、其礦業ハ、石炭、最盛ナリ、空知ノ出ス所ハ、二億五千餘萬噸、岩内ハ三千八百萬噸、其二現出ノ額ニ係ル、金、銀、銅、鐵、及

沙金沙鐵等日川石材頗多採掘其盛大二至五六我國富
強ノ基此一嶋ニ關涉スル所其利其益素ヨリコレヲ測定
ス可ラザル者ナリ
改正日本地誌要略卷之四

每冊定價金廿錢

明治十一年六月十九日原版々權免許
明治十二年三月廿二日分版御届
明治十五年十二月七日改正版權免許
明治十九年五月三十日出版納本

原版主
兼著述人

東京府平民
大槻修二
府下淺草區北富阪町廿五番地

出版人
大阪府平民
柳原喜兵衛
府下東區北久太郎町四丁目拾五番地

出版人
大阪府平民
三木佐助
府下東區北久寶寺町四丁目拾四番地

出版人
大阪府平民
岡島眞七
府下東區本町四丁目五拾九番地



